

# 青少年育成委員会 事業計画

副理事長 石井真太郎  
青少年育成委員会 委員長 川西 剛

我々が住む小豆島では少子化等の社会変化により人口減少が起きており、未来の小豆島にとって重要な青少年は先を見据えて様々なことを考えて行動する時期に来ています。そのためには社会参画についての方法を知り理解を深める機会が必要です。また、自分の地域についての理解を深めて人として大きな成長につながる機会を提供する必要があります。そして、自分の将来を前向きに考え、自分に誇りを持つようになることが必要です。

まずは、青少年が社会参画の意識を醸成させるために、政治に触れて内容を知り、情報共有や意見交換をして自分の意見を考えることにより、社会参画の重要性を学び、一人の意見の重要性を知り、政治について理解して、意識を変えることにつなげます。そして、地域の良さを知り、そこから自分の将来について考え、学校や家庭で学ぶことができない経験をするために、地域の特性と自分自身の考えを積極的に発言する機会を作り、今後の自分に必要とされるものを見つけ、自分の将来を明確に考えられるようにします。さらに、事前に相撲の知識を学び、目的設定を行い、今まで感じたことがない経験を今後の生活に活かすために、地域諸団体と連携してわんぱく相撲小豆島場所を開催し、設定した目的に向かって全力で前向きに取り組むことができるようにします。また、わんぱく相撲小豆島場所で勝利を収めた4・5・6年生の優勝者は両国国技館において、相撲を取るという経験や一人で行動しなければならないという経験をするためにわんぱく相撲全国大会に出場し行動する難しさを知り、自分の力で物事を考えて目的達成の方法を学ぶ機会とします。

社会参画に対する理解を深め地域に対する意識を変えることで、日本人としての価値観を認識し自身のおかれている環境に誇りを持つことにつなげ、不動智の志のもと、自分の力を信じて明るい将来を考え積極的に行動し明確な意見が発言できる青少年を育成します。

## <事業計画>

1. 社会参画意識の醸成に向けた事業の実施
2. わんぱく相撲小豆島場所のPR
3. わんぱく相撲小豆島場所の開催
4. 教育機関と連携した事業の実施
5. キャンドルナイト事業のサポート
6. その他